



SEABORG

200J-SJ

取扱説明書

目次

安全上の注意	1~7
電源について	8~11
電源のつなぎ方	8
電源について	9
バッテリーチェック表示について	10
コードレスバッテリー取付け方法	11
お手入れ方法	12,13
リールのお手入れについて	12
お手入れ方法	12
コード取扱い上のご注意	13
コードのお手入れのしかた	13
その他お手入れ上のご注意	13
各部の名称と機能	14,15
スイッチの名称と働き	16,17
道糸入力方法	18~27
「棚センサーブライト編」	18,19
「リールに巻く糸の長さがわかる編」	20~22
「下巻き入力」	23~25
「引出し入力」	26,27
機能設定の基本操作	28~40
1.モード画面の使い方	28,29
便利機能の設定のしかた	
2.釣りを始める前に	30
水面ゼロ設定	
道糸が切れてしまったら	
3.えらべる船ペリ自動停止	31
えらべる船ペリ自動停止	
4.チョイ巻きスピード設定方法	32
チョイ巻き	
チョイ巻きスピード設定方法	
5.チョイ止め設定方法	33
チョイ止め	
チョイ止め設定方法	
6.タイマー	34
タイマー	
7.タイマー巻上げ	35,36
タイマー巻上げ	
8.表示補正	37,38
表示補正	
9.その他の便利機能	39
いろいろアラーム	
アラームON・OFF選択	
カウンターランプ	
ブレーカー作動表示	
10.ハンドルノブの取り外し方 &	40
ハンドルアーム長交換方法	
仕様一覧	41
リール仕様一覧	
カウンターパート仕様	
展開図	42
故障かな?と考える前に	43

ライン入力方法一覧

このリールは下記の方法で入力できます。	
P0 指定入力	当社棚センサーブライト(PE) 18,19 巻きデータをインプットするだけのカンタン入力。
P1 糸長入力	巻く糸の全長がわかつている時に便利な方法。 20~22
P2 下巻き入力	下巻きを入れる時の入力方法。ただし、長さのわかる道糸100M以上が必要です。 23~25
P3 引出し入力	道糸を巻き終った状態から引き出して再入力するための方法です。ただし、長さのわかる道糸100M以上が必要です。 26,27

この度は、シーボーグ200J-SJをお買上げいただきまして、誠にありがとうございます。船釣りに便利な機能が多く搭載されているこの電動リールを正しくご使用いただくために、ご使用になる前にこの取扱説明書をよくお読みください。またリール同様、この説明書も大切に保存していただきますようお願い申し上げます。

安全上の注意

電動リールをご使用にあたり注意していただきたい大切なことが記載されています。ご使用前に必ず、お読みいただくようお願い致します。

●マークについて



この記号は「**してはいけないこと**」を意味しています。
この記号の中や近くに、具体的な禁止内容を表示します。



この記号は「**注意すべきこと**」を意味しています。
この記号の中や近くに、具体的な注意内容を表示します。



この記号は「**しなければならないこと**」を意味しています。
この記号の中に、具体的な指示内容を表示します。

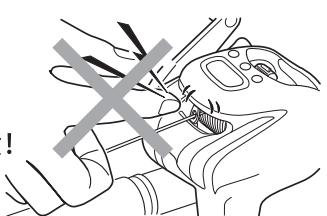
！ 警 告

記載事項を無視して、誤った取り扱いをすると、生命に関わる障害・重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

- 糸をスプールに平行巻きにするレベルワインドと本体の間に指をはさまれないようご注意ください。けがをする恐れがあります。



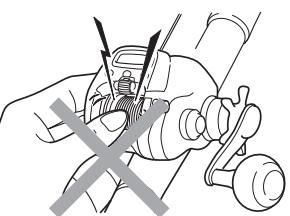
接触注意！



- 糸送り(モーター作動)中にクラッチをONにすると糸を巻き込みます。その際は指をはさめないよう注意してください。けがをする恐れがあります。



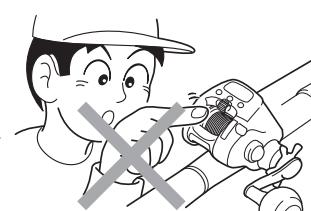
接触注意！



- お子さまが使用する時は、回転部やスキマに手をはされないよう、付き添いの保護者の方は十分ご注意ください。



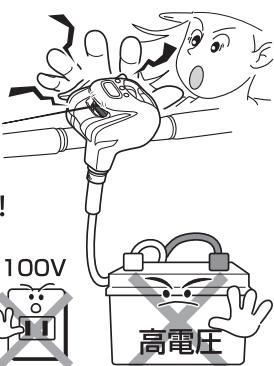
取扱注意！



- バッテリー、船電源などを使用する場合は、所定電圧以外を使用しないでください。所定の電圧以外を使用すると、電動リールが異常発熱し、手をヤケドしたり、ICが故障したりする恐れがあります。家庭用(交流)電源にはつながないでください。回路がショートし発煙・発火する場合があります。



使用の禁止！



- 幼児の手の届く所では保管、使用はしないでください。



保管注意！



安全上の注意

!**警 告**

記載事項を無視して、誤った取り扱いをすると、生命に関わる障害・重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

- 電動リールを使用されますと微弱な電波が発生し、補聴器・ペースメーカー等の医療機器が誤作動したりするなど影響を与える場合があります。特に心臓ペースメーカーをご使用されている方が電動リールを使用されますと、動悸、目まいが起こる場合がありますので、本製品のご使用前に必ず当該各医療機器メーカー、もしくは販売業者に電波による影響についてご確認ください。



取扱注意!



- ハーネスなどで電動リールを体に固定するのはおやめください。
大きな魚により、海水へ引き込まれるなど、生命身体に危害が及ぶ恐れがあります。



使用の禁止!



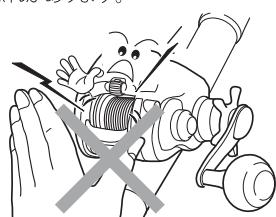
!**注 意**

記載事項を無視して、誤った取り扱いをすると、けがや物的損害を負う可能性が想定される内容を示しています。

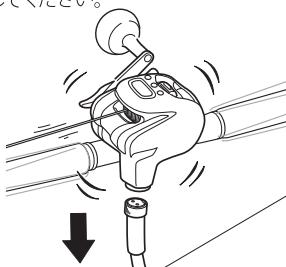
- 駆動しているとき、駆動部分に触れないでください。けがをする恐れがあります。



接触禁止!



- 何らかの異常で釣りの最中にモーターが回り放しになった場合は、指をはさまれない様、注意して、直ちに電源を外してください。



- 液晶中に水滴が見られる場合、モーターの回り放しなどICが故障して異常動作をすることがあります。すぐにご使用をやめて修理にお出しください。



使用の禁止!



- 電源を外す!



電源を外す!



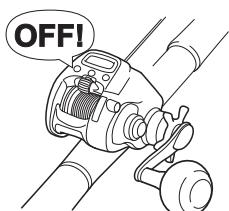
⚠ 注意

記載事項を無視して、誤った取り扱いをすると、けがや物的損害を負う可能性が想定される内容を示しています。

- ドラグ力を設定する際は、必ずその前に、電動自動巻き上げをOFFにしてください。手で糸を引いてセットする場合があるので、糸で手を切る恐れがあります。



電源を切る!



- 糸が勢いよく出ているとき、または、糸を巻いているときに、糸をつかまないでください。糸で指を切ることがあります。



接触注意!



- 屋内で糸を巻くときは、高速で行ってください。低速・高テンションで長時間かけて糸を巻くと、モーターが異常に発熱し発煙する恐れがあります。また、電動巻上性能が低下することがあります。



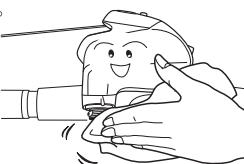
取扱注意!



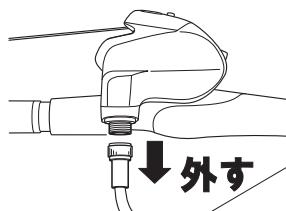
- 船上でコードの再接続をするときは、接続部に海水などの水分が付着していることがありますので、乾いた布でよく拭き取ってから、接続してください。そのまま接続すると、ショートして、感電・発煙・発火の恐れがあります。



取扱注意!



- お手入れの際は、駆動を停止して、電源を抜いてから行ってください。不意に駆動して、けがをする恐れがあります。



電源を外す!



- 使用状況や保管状況によって、コードが断線、ショートなどの故障を起こし、発煙・発火に至る場合があります。『コード取り扱い上の注意』、『コードのお手入れのしかた』、『その他お手入れ上の注意』を必ずお守りください。なお、コードの手入れは、電源を外してから行ってください。古いコードは断線、ショート等故障の原因となりますので、リールの性能を維持するためにも、2年での交換をおおすすめ致します。



正しい取扱を!



安全上の注意

! 注 意

記載事項を無視して、誤った取り扱いをすると、けがや物的損害を負う可能性が想定される内容を示しています。

- 根掛かりしたときは、竿をあおらず糸を手に取つて切るようにしてください。(手袋やタオルで必ず手を保護しましょう。)

太いハリスをご使用になっている場合、手で持つて切れそうもないと思われるときは、船長に相談して安全に対処してください。



けがに注意!



- 電源をつなぐ前に、必ずドラグを十分に緩めてから接続してください。

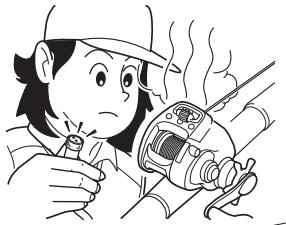
IC故障時にモーターが回り放しになり、仕掛けを巻き込み、竿を破損する恐れがあります。



取扱の実施!



- こげくさい時や漏電など、異常時には直ちに駆動を停止して電源を外してください。発熱や発火、感電などの原因になります。



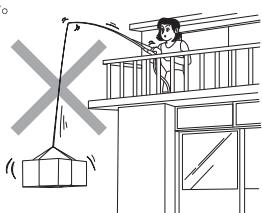
外す



電源を外す!

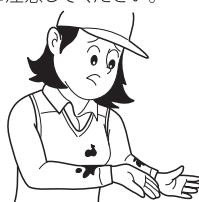
- リールを釣り以外の目的で使用しないでください。

目的以外の
使用禁止!



- リールの回転部にはグリスや油が付いていますので、服を汚さないように注意してください。

取扱注意!



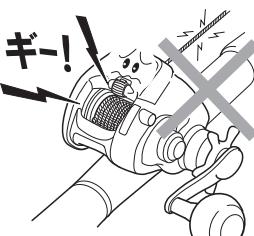
- 塗装やメッキなどの表面層あるいは素材の表面が剥れた場合は、その部分に触れないでください。けがをする恐れがあります。

接触禁止!



- ワイヤーは、道糸として使用しないでください。スプールが腐食したり、破損したりすることがあります。

使用の禁止!



⚠ 注意

記載事項を無視して、誤った取り扱いをすると、けがや物的損害を負う可能性が想定される内容を示しています。

竿その他を破損する恐れがあります。



取扱注意!



故障につながる原因となります。



改造の禁止!



●コードの改造はしないでください。ショートなどの故障を起こし、発煙・発火の恐れがあります。



改造の禁止!



●落下などのショックにより破損あるいは内部電子部品の損傷、クラックによる浸水、基板短絡が生じ機能障害を起こします。強い衝撃や重圧が加わらないようご注意ください。(外観上には異常が見られなくとも故障していることがあります。)



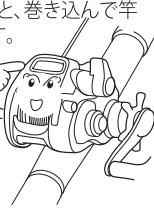
取扱注意!



●使用途中で、カウンター表示がずれたり、道糸が切れたり、電源が外れたり、大きな張力変動があったりしたときは、カウンター表示の再設定を行ってください。
そのままで再度使用しようとすると、巻き込んで竿その他を破損する恐れがあります。
水面に仕掛けがある位置でのリセットを忘れた場合も同様のことが起る恐れがあります。



操作の実施!



取扱上のご注意

電動リールの取扱いで特に注意していただきたい大切なことが記載されています。ご使用前に必ず、お読みいただけますようお願い致します。

■マグシールド

「マグシールド」は磁性を持つ液体を利用してすることで、磁性を持つ液体の壁を作り、水の浸入をシャットアウトする画期的構造。滑らかな回転はそのままに、水、異物の浸入を抑えることで初期回転性能を長期間持続。イヤな塩ガミがなくなることで、長期間使用時の回転低下や異音を改善し、耐久性が大幅に向上了。

■マグシールドボールベアリング

独自の技術により、ボールベアリングそのものをマグシールド化。磁性を持つ液体の壁によって、ボールベアリング内部への水、異物の浸入を抑えることで、ボールベアリング自体の錆、塩ガミ、異音を大幅に解消。



- ・マグシールドボールベアリングそのものへの注油は絶対におやめください。
マグシールド機能を損ないます。

注意

- ・分解作業は絶対におやめください。マグシールド機能を損ないます。



マグシールドボールベアリングの優れた防錆・防塵性能は、内部に封入された磁性を持つ液体(マグオイル)の壁により維持されております。

・マグオイルはやや多めに封入されている為、ボールベアリングの表面にマグオイルが滲み出ることがあります。性能には影響ありません。(表面の滲み出たオイルは拭き取らないでください。)

・マグシールドボールベアリングを指や、布、綿棒等で触れたり、拭いたりすることは絶対におやめください。マグオイルが拭き取られることにより、マグシールド機能を損なう恐れがあります。

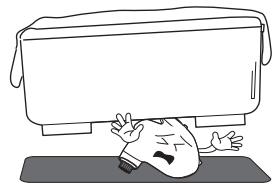
安全上の注意

取扱上のご注意

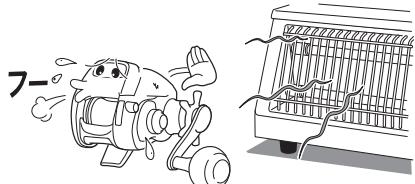
電動リールの取扱いで特に注意していただきたい大切なことが記載されています。ご使用前に必ず、お読みいただくようお願い致します。

⚠ お願い

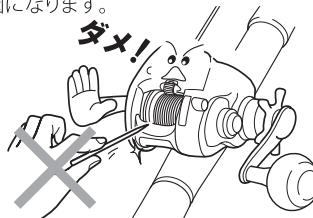
- リールの上に乗ったり、物を載せたりしないでください。故障の原因になります。



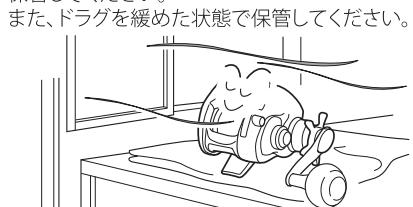
- 発熱器具のそばに置かないでください。樹脂が溶けて変形したり劣化して、故障の原因になります。



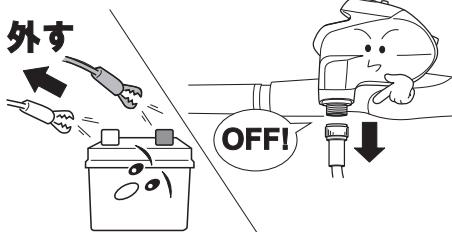
- スプールとフレームのスキマやその他本体のスキマに棒や金属物などを入れないでください。故障の原因になります。



- リールを長期間収納するときは、水分を完全に切り、直射日光を避けなるべく通風性のよい場所に保管してください。



- 電源を外すときは、駆動を停止してから、行ってください。故障の原因になります。



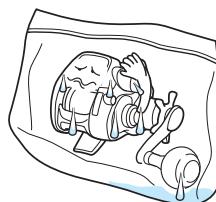
- 塩分を含んだ海水で道糸が湿った状態のままで保管するとスプールが腐食する恐れがあります。水道水を糸巻き部だけにあたるように掛けて海水を十分流してから通気性の良い直射日光のあたらない場所で乾燥させてから保管してください。



- 釣りに出かけの前には、リールの点検(動作点検)を行ってください。
故障によって、釣行に支障をきたすことのないようにするために。



- 濡れたままビニール袋やバックンなどで、リールを保管しないでください。錆や故障の原因になります。

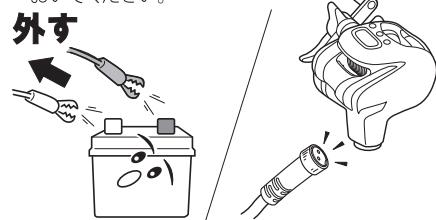


⚠ お願い

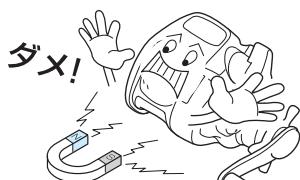
●電動リールを洗剤で洗うときは、中性洗剤を薄めて使用してください。塩素系、酸性及びアルコール系洗剤は使用しないでください。樹脂が劣化して、故障の原因になります。



●リールを使用しないときは、電源・コードを外しておいてください。



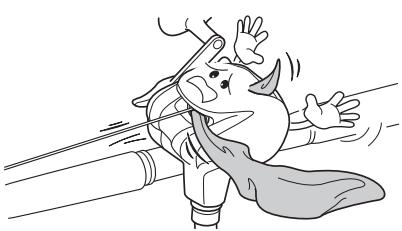
●磁石等磁力のある物は近づけないでください。
誤動作や故障の原因になります。



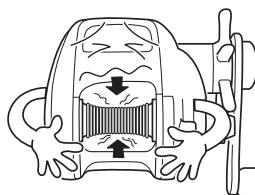
●振り出しロッドを仕舞い込む際に、リールをつけたまま竿尻を床面等にトントン叩いて仕舞わないでください。リールが破損する恐れがあります。



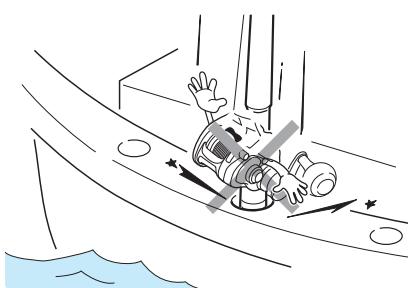
●糸巻き中に布などが巻き込まれないように、ご注意ください。
また、パックラッシュ等によりフケタ糸の巻き込みにもご注意ください。



●水気を含んだ糸を強い張力で巻いた状態でリールを保管しないでください。保管時に糸が乾燥すると縮み、スプールを破損する恐れがあります。特に、PE専用機種には、ナイロン・フロロラインなどを巻かないでください。



●船べりの穴へ竿にリールをつけたまま入れる場合は、船べりにリールが直接当らないか確認してください。当る場合は、穴へ入れることはおやめください。リールを破損する恐れがあります。



◆カウンター部について

1.偏光グラスの使用

2.真冬(カウンターの表面温度-10°C以下)および真夏(カウンターの表面温度60°C以上)

上記の場合には、液晶の特性上文字が見にくくなることがございます。ご了承ください。

3.早朝や夕方など太陽光の入射角によって液晶表示の影が見えることがありますがあまり異常ではありません。

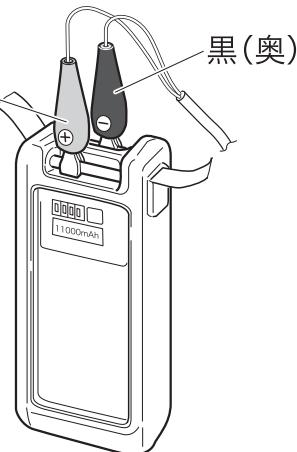
電源について

●電源のつなぎ方

1.まず、コードのクリップ(2つ)と電源を 赤(手前)
つないでください。

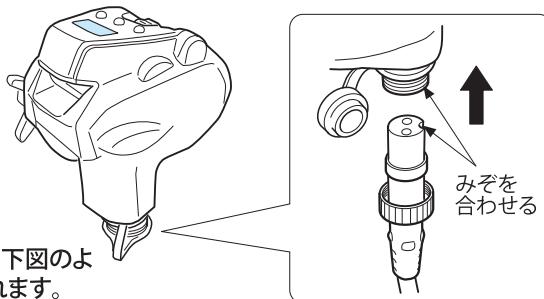
クリップは赤いカバーのほうがプラス $+$ 、
黒いカバーのほうがマイナス $-$ です。

2.次に、付属コードのコネクターとリール
本体をつないでください。

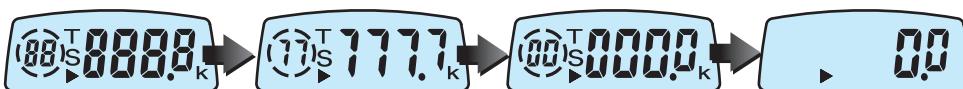


※図はスーパーリチウム11000

※以上の手順が正しく行なわれると、下図のよ
うに表示変化したうえで、セットされます。



0.5秒



(全点灯)

(表示変化)

(セット完了)



・1度電源につなぐと、メモリーバックアップ(カウンター情報の保存)機能が働くため(最低15分間)、その後の電源との再接続時には、上記の表示変化がされないでセットが完了するケースがありますが、問題はありません。

●電源について

このリールは直流(DC)12V対応の電動リールです。指定外の電源(たとえば、家庭用の交流(AC)100V、船装備の直流24Vなど)では使用できません。

なお、船電源は、発電機や配線の関係で電圧が不安定になりやすく、リールの保護回路が働いて回転が停止したり、断続的になってしまることがあります。

リールの性能を充分に發揮させるためにも、電動リール専用バッテリーをご使用ください。



注意

- ・出発前によく確かめてください。
 - 1.バッテリーは、長時間放置されると自然放電(残量低下)している可能性があります。釣行前には、必ず充電を行なってください。
 - 2.船の電源は、電圧、接続端子の形状などにより使用できないことがあります。事前にご確認することをおすすめします。
 - ・端子のサビなどによりリールが正常に作動しない場合があります。サビなどは取り除いてご使用ください。

●バッテリーチェック表示について

通電時(巻上げ中または巻上げストップ時)に、電源電圧がDC9.9V以下になると、
Loマークが点滅表示されます。
モーター回転がストップしているときにこの表示が点滅している場合、バッテリー残量の減少
による電圧低下が考えられます。そのときには、バッテリーを充電したものと交換してください。
(船電源をご使用の場合は、電源の電圧や端子をチェックしてください。)



※コードレスバッテリーBMには残量警告機能があります。残り容量約10%でリールの液晶表示
に低電圧の電圧警告表示上図が表示されます。表示が出ましたら充電済のバッテリーに交換
してください。電動巻上げ中は低電圧の警告表示ができないため、巻上げ状態が長く続くと残
りの10%を使い切り、突然止まる可能性があります。バッテリーが切れた状態で、手巻きで糸
を巻いてしまい(魚とのやりとり等で)次のバッテリーで電動巻上げした時に糸を巻込み、竿先
を折る可能性がありますのでご注意ください。その際はリセット/水面ゼロ設定を再度行ってく
ださい。(詳しくはP.30参照)

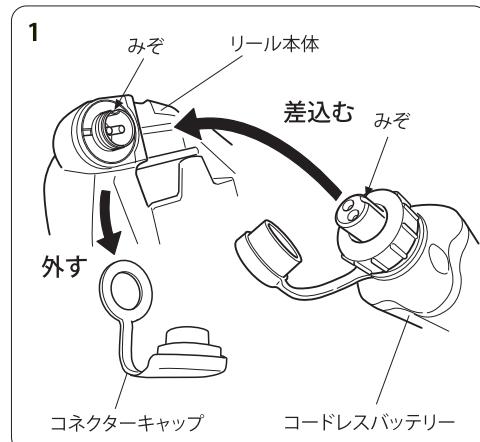
●コードレスバッテリー取付け方法

コードレスバッテリーの取付け方法をご説明します。バッテリーは釣行前にあらかじめ十分に充電してください。

- リール本体のコネクターキャップを外し、バッテリーと本体のみぞを合わせ差込みます。

!**注意**

- コネクターキャップが残ったままバッテリーを取付けるとねじの締め付けが不完全なため、脱落の原因になりますので必ず、保護キャップは外してご使用ください。
- リールを洗う時や保管する際は、コネクターキャップを装着してください。

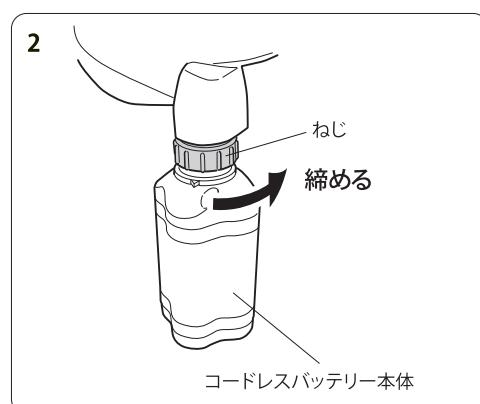


- バッテリーのねじを締め付けます。

※ご使用の際は、ロッドホルダーや船べりにバッテリーが当たらないようロッドクランプの位置を調整してください。

!**注意**

- コードレスバッテリー本体を回さないでください。破損する場合があります。
- バッテリーの海中落下にご注意ください。
- コードレスバッテリー取扱等に関する詳細は、バッテリーの取扱説明書をお読みください。



お手入れ方法

●リールのお手入れについて

このリールは、水洗いできる「洗える電動リール」です。釣りが終わった後は汚れなどをきれいに洗い流してください。

●お手入れ方法

1.柔らかいスポンジなどでリール本体を洗い、汚れを落とします。

※汚れがひどい場合に使う洗剤は中性洗剤のみを使用してください。

※使用量目安:水1ℓに対して1.5mℓ

液体(薬用)石鹼など石鹼類及び弱アルカリ性など中性以外の洗剤のご使用はおやめください。故障の原因になることがあります。

2.水をかけて洗剤と汚れをよく落としてください。スプール部にもよく水をかけて塩分を落としてください。

給湯器をご使用の際は、温度設定を30℃以下としてください。

3.よく水を切り、陰干してください。

※保管の際は、ドラグを緩めてください。

※ハンドルノブ内部には水がたまりやすいため、特に注意して水切りをしてください。

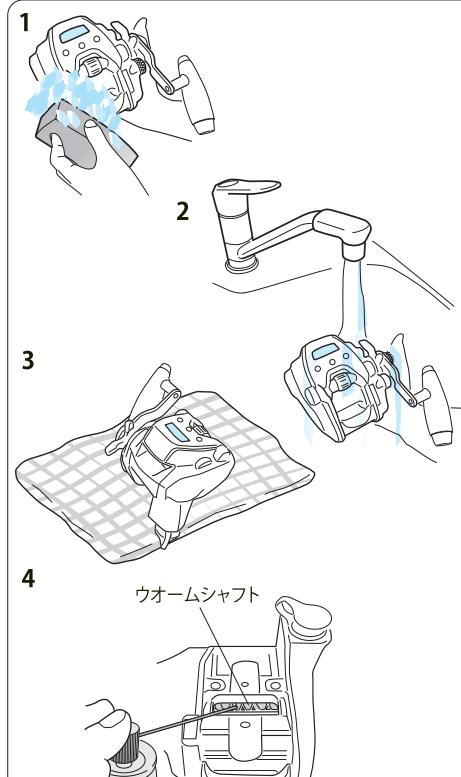
4.注油してください。

ウォームシャフト部へショットとひと吹き注油します。

※推奨グリス:純正リールガードグリス

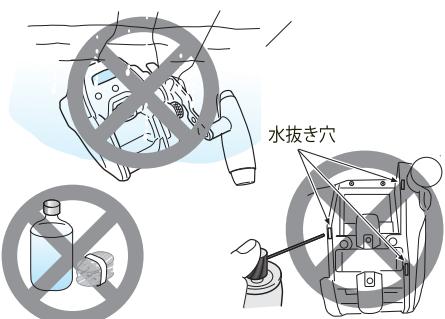
(商品コード:04980020)

専用スプレーは釣具店にてお取り寄せください。



注意

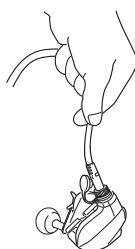
- ・海水で洗ったり水の中につけて洗うことは絶対にしないでください。
- ・ベンジン、シンナーなどの有機溶剤は絶対に使用しないでください。
- ・リール本体に傷が付きますので、みがき粉、タワシ、スチールタワシなどは絶対に使用しないでください。
- ・注油したオイルがはね返り噴き出す可能性もありますので、のぞき込まないでください。
- ・水抜き穴への注油は厳禁です。
- ・本体に磁力を近づけないでください。



●コード取扱い上のご注意

コードの断線等によるトラブルをさけるために必ず守ってください。
※コードを改造することはおやめください。思わぬ故障の原因となります。
コードは大切にしてください。

- ・コードを持ってリールをぶらさげるこ
とは、おやめください。



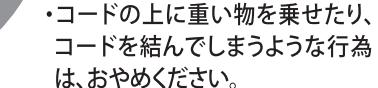
- ・コードを水洗いすることは、
おやめください。



- ・リール本体にコードを差し込んだま
ま本体にぐるぐる巻き付けることは、
おやめください。



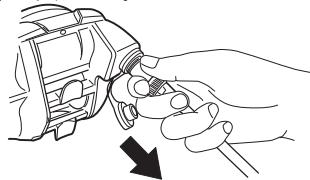
- ・コードの上に重い物を乗せたり、
コードを結んでしまうような行為
は、おやめください。



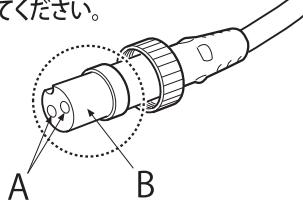
●コードのお手入れのしかた

- ・ご使用後は、水道水または温湯で浸した柔らかい布で、外観部の汚れを拭き取り、よく乾かしてください。
- ・特に、ワニグチクリップは、カバーを外して、完全に乾かしてください。
- ・乾燥後は、コネクター部の注油を行なってください。
- ・リールのコードは、本体から外して保管してください。

- ・コードを抜くときは、必ずコネクター部を
持って抜いてください。



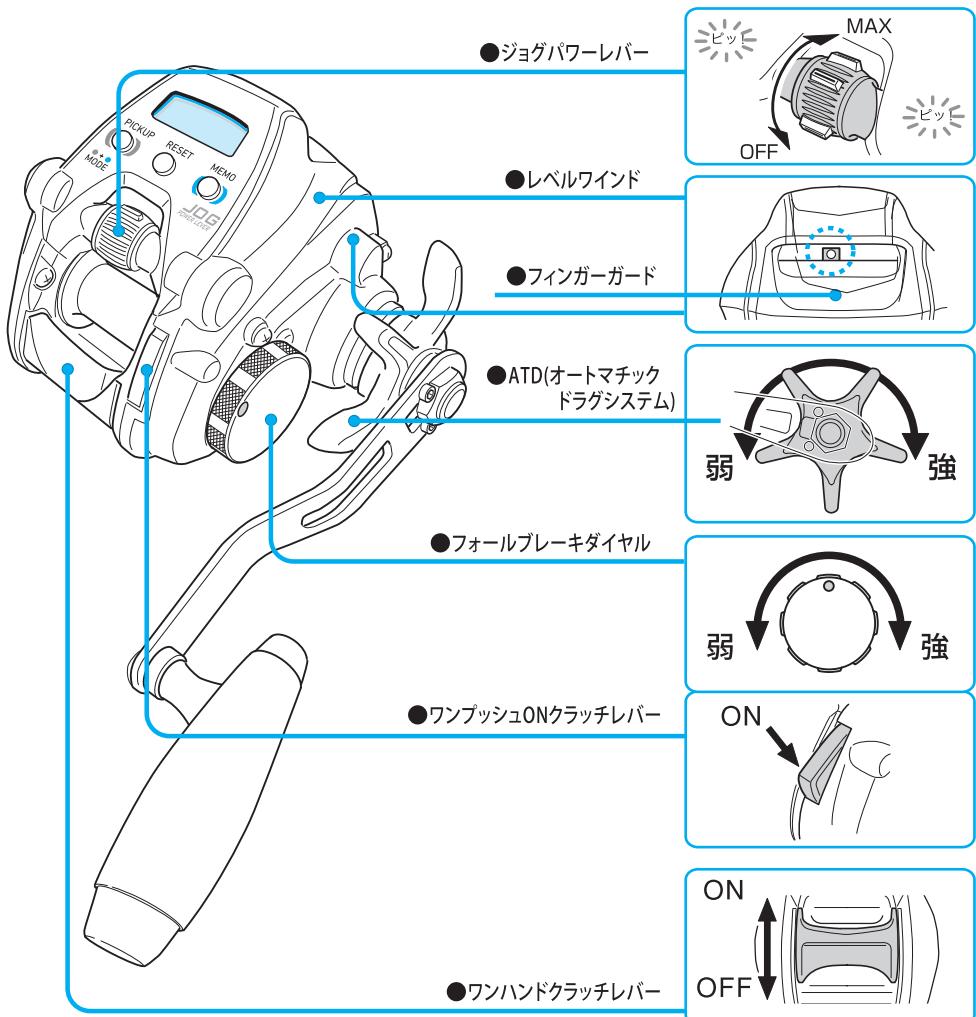
- ・A(ピン)、B(外周部)も清掃しグリスを注
油してください。



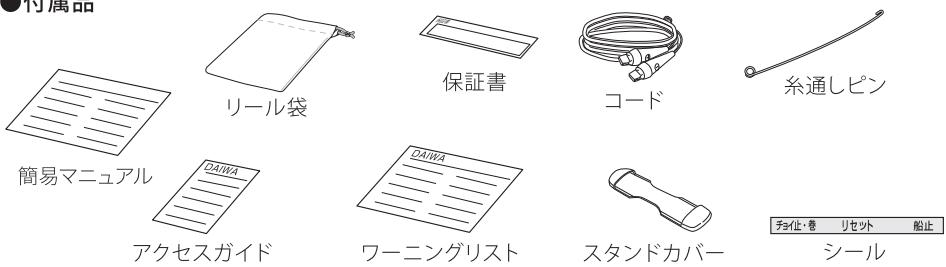
●その他お手入れ上のご注意

- ・このリールは電気回路、モーターなどの精密な部品を内蔵しておりますので、お客様ご自身での分解組み立ては極めて困難です。おやめください。
- ・コネクター部保護のため、リールをご使用にならないときは防護用コネクターキャップでフタをしてください。
- ・古いコードは断線、ショート等故障の原因となりますので、リールの性能を維持するためにも、2年での交換をおすすめ致します。

各部の名称と機能



●付属品



●ジョグパワーレバー

- ・レバー操作により巻上げパワー(スピード)をON/OFF～MAXまで自由自在に変速させることができます。
- ・レバーを前(左図MAX側)に倒すと、パワー(スピード)アップします。(巻き上げ速度、増加)
レバーを元(左図OFF側)に戻せば、パワー(スピード)ダウンします。(巻き上げ速度、減少)
- ・巻上げを開始するとき、パワーレバーがOFFの位置にないときは、レバーを一度OFFの位置まで戻して(OFFの位置でアラームが鳴ります)から、レバーを前に倒して巻上げを開始してください。
- ・船べり停止位置付近では、安全のためパワーレバー操作がきかない場合があります。
- ・巻き上げ負荷の変動等で、ジョグパワーレバーの設定表示が上下する時がありますが、異常ではありません。

●ATD(オートマチックドラグシステム)

※ドラグノブクリック付き

- ・スタートドラグの締め付けを調節することにより、魚の急激な引きに対応し、スプールが空転して糸切れを防ぐ機構です。
 - 1.リールをロッドにセットし、ラインをロッドのガイドに通してから調節してください。
 - 2.クラッチONの状態で、手で糸を引き出しながらドラグの締め付けを調節します。通常は、糸(ハリス)が切れる寸前にスプールが空転するように調節します。

●ワンプッシュONクラッチレバー

- ・クラッチOFFの時、レバーを押すとクラッチがONになります。
- ・ロッドを持っている手で素早くクラッチがONできます。

●フォールブレーキダイヤル

- ・ジグのフォールスピードをコントロールするブレーキシステムです。また、バックラッシュ(糸フケによるパーマ)を防止します。船の揺れやジグの重さなどにより、締め付け具合を調整してください。

●レベルワインド

- ・ガイドに糸を通します。糸がスプールに平行に巻けます。
※糸を巻く際の条件により、スプールへの糸巻き状態に若干の片寄りが見られる場合があります。

●ワンハンドクラッチレバー

- ・親指で軽く下に押すだけでクラッチが切れます。
◆ONの時→ ハンドルを回すと糸が巻き取れます。
◆OFFの時→ スプールがフリーになります。
ハンドルを正転方向に回せばクラッチONになります。

●付属品

- ・コード・簡易マニュアル・シール・アクセスガイド
- ・リール袋・保証書・ワーニングリスト
- ・糸通しピン

レベルワインドに糸を通すときに使います。(糸通しピンは、付属品としてビニール袋に、リール袋と一緒に入っています)

・スタンドカバー

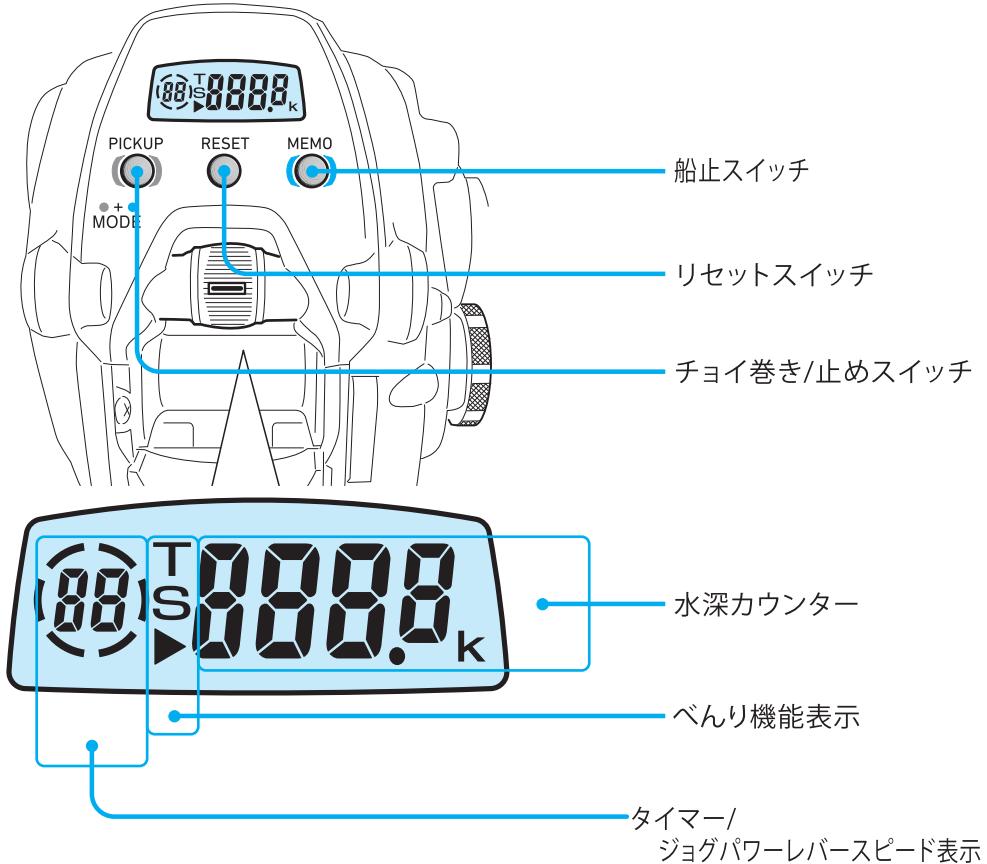
リール・ロッドへの傷付き防止及びリールシートとのがたつき防止としてお使いください。



注意

- ※スタンドカバーを付けるとロッドによっては、リールが付かない場合があります。
- ※取付部が回転するロッドでは、スタンドカバーが破れる場合があります。
- ※リールシートを強く締め込み過ぎるとスタンドカバーが変形し、スプールに接触してスプールフリー(仕掛け落下)が悪くなる恐れがあります。

スイッチの名称と働き



●RESET(リセット)

RESET スイッチを押すと、上のカウンター（水深カウンター）が [0.0] mになります。
また、タイマーがリセットされます。

※釣りを始める前に、RESET スイッチを必ず1度押してください。スイッチを押した点を基準に、船べり自動停止位置が設定されます。
(画面に [S] (船止) の表示が出ます。)

船べり自動停止の初期設定は、[2.0] mにしています。P.30「水面ゼロ設定」

・糸切れした場合のデータ修正以外は、カウンタ一誤差の原因になりますので
RESET スイッチの長押しはしないでください。

●MEMO(船止)

MEMO スイッチを2秒押すと、船べり停止が設定されます。(P.31参照)
タイマーは、このスイッチを押すと再スタートします。

●PICKUP(チョイ止・チョイ巻き)

モード設定で、チョイ止・チョイ巻きどちらかの選択ができます。

・チョイ巻き

- PICKUP スイッチを押している間、電動で巻き上げることができますので、糸ふけを取る時や、誘いをする時などに便利です。
 - 巻き上げの速さは、モードを開いて0～Hiまで変えることもできます。
- ※巻上げ速度を0にした場合は、スイッチを押しても巻き上げしません。
- ※船べり停止位置+3mからは、安全のためスイッチを押しても作動しません。

・チョイ止め

- 電動巻上げしている時、PICKUP スイッチを押している間だけ電動巻上げを止めることができます。

●MODE(モード)

MEMO スイッチと

PICKUP スイッチを同時に2秒押すと、各種便利機能の「設定画面」になります。

一度設定すれば、次の釣行もその設定のまま使用できます。

数値および機能のON/OFFの設定はすべてパワーレバーで行います。

数値の入力が終わったら、PICKUP スイッチを押して、次のモードに移った段階でセット完了です。

- PICKUP スイッチを押すごとに、画面が「コマ送り」になります。
- PICKUP スイッチを押し続けると「早送り」になり、「水深」画面に戻ります。

●モード設定機能表示

- 便利機能の設定画面を表示します。
- セットして作動する機能は、表示が点灯(点滅)します。

[S] が点灯→ [RESET] スイッチを押すと点灯します。(水面ゼロ設定をしないと、船べり5.0mで船べり停止します。)

[▶] が点灯→ PICKUP スイッチを押している間、電動で巻き上げることができます。

[T] が点灯→ タイマー巻上げが作動します。(タイマー)

[Lo] が点滅→ 電源電圧が低下した時、点滅します。

●水深カウンター

・上(海面)からの水深を表示します。

●タイマー

- モーター回転ストップ時、仕掛け投入時間(タイマー)を表示します。
- パワーレバーの操作中は、パワーレバー設定状態を表示します。(1～Hiまで)

道糸入力方法「棚センサーブライト編」

P0 指定入力

指定入力とは当社棚センサーブライト(PE)またはナイロン糸を巻かれるときに、次ページに記載の糸種・号数・巻き糸量の中から選択してセットするだけでデータが入力できる便利な方法です。
(タナセンサーブライト3号200mを巻いて入力すること例にしてご説明します。)



道糸入力の際は、モーターが過熱しフレームが非常に熱くなりますので手で直接フレームを触らないでください。濡らしたタオル等をフレームに当てて入力を願いします。

1.道糸をレベルワインドに通してスプールに結んでください。

※付属の糸通しピン(P.14参照)を使うと簡単に通せます。

※スプール面での糸滑り防止のため、必ず糸止めピンに糸を結んでください。

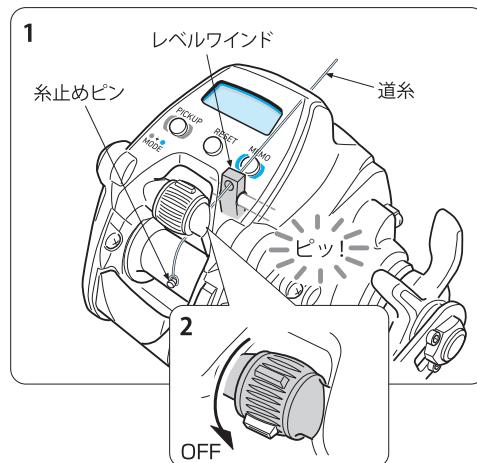
※ドラグを締め付けてください。

2.ジョグパワーレバーをOFFまで戻します。

3.リールを通電させ、ジョグパワーレバーをMAXの位置まで倒し最後まで道糸を巻いてください。

※接続方法についてはP.8「電源とのつなぎ方」を参照ください。

※道糸は約1kgのテンションで巻いてください。



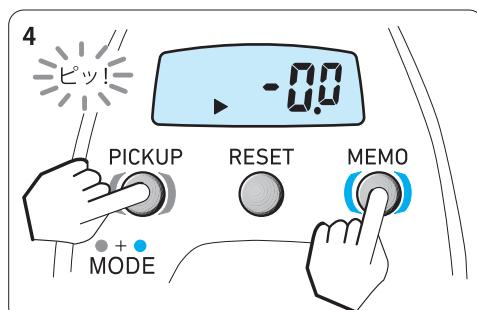
- ・フィンガーガードやフレームに糸があたると、リールが傷つくことがあります。糸があたらないようにご注意ください。
 - ・屋内で低速・高テンションで長時間（※1）かけて糸を巻くと、モーターが異常に過熱し故障の原因になります。ジョグパワーレバーをMAXにして入力を行ってください。また、実釣時には海水等で冷却されますのでご心配ございません。
- （※1）10分間連続で糸を巻くと、モーター過熱防止機能が働き、モーターが停止し、画面表示が点滅、5分間全ての操作ができなくなります。コマセタイマー部に4→3→2→1→0(分)とカウントダウンし、「ピー」と鳴ったら停止前の状態から入力可能です。

4.表示が **-0.0** のときに

MEMO(船止)スイッチと

PICK UP(チョイ止・巻)スイッチ

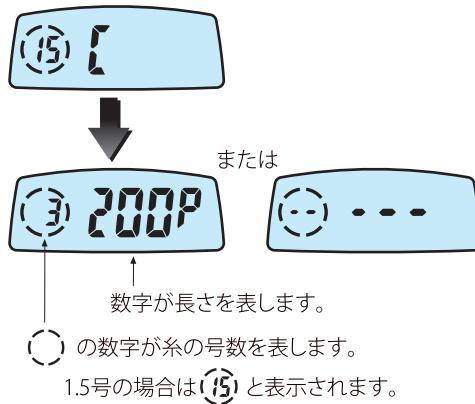
を同時に6秒間押し続けてください。



※およそ2秒後にチョイ巻き画面になります
が、そのまま押し続けてください。

5.初期設定PE3号－200mの画面になります。

※ここで一旦スイッチを離してください。



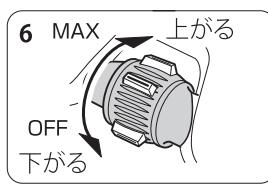
6.ジョグパワーレバーで、ご使用になる糸と巻き量の組合せを選択してください。

- ・レバーを前に倒すと数値が上がります。
- ・レバーを元に戻すと数値が下がります。

下表はデータ一覧表を示します。

選択可能なデータ一覧表

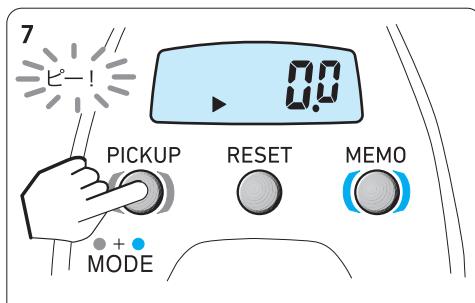
PE(右の表示がPの場合)(m)	ナイロン(右の表示がLの場合)(m)
1.5号	450
2号	300
3号	200
4号	170



※図の場合ではPE3号200mのデータがセットされます。

7.ジョグパワーレバーで数値が選択できたら、PICKUP(チョイ止巻)スイッチを押して完了です。

アラーム音が鳴り、表示 0.0 の点滅が終われば完了です。



便利

※シーボーグ200J-SJには、あらかじめ棚センサーブライト3号－200mのデータが入力されています。棚センサーブライト3号－200mを巻く場合は、データのインプットは不要です。

道糸入力方法「リールに巻く糸の長さがわかる編」 P1 糸長入力

リールに巻く糸の長さがわかっている時の便利な方法です。
(PE1.2号500mを巻いて入力することを例にしてご説明します。)

やけどに注意!

道糸入力の際は、モーターが過熱しフレームが非常に熱くなりますので手で直接フレームを触らないでください。濡らしたタオル等をフレームに当てて入力をお願いします。

1.道糸をレベルワインドに通してスプールに結んでください。

※付属の糸通しピン(P.14参照)を使うと簡単に通せます。

※スプール面での糸滑り防止のため、必ず糸止めピンに糸を結んでください。

※ドラグを締め付けてください。

2.ジョグパワーレバーをOFFまで戻します。

3.リールを通電させてください。

4.表示が **0.0** のときに

MEMO(船止)スイッチと

PICKUP(チョイ止・巻)スイッチ

を同時に6秒間押し続けてください。

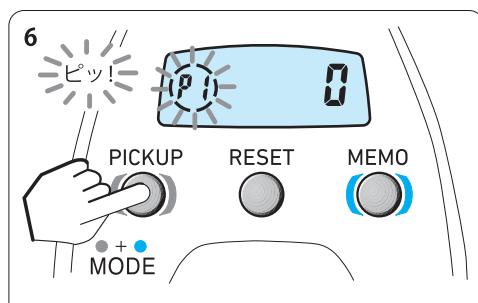
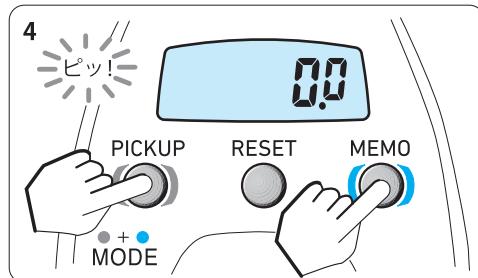
※およそ2秒後にチョイ巻き画面になりますが、そのまま押し続けてください。

5.初期設定PE3号200mの画面になります。

※ここで一旦スイッチを離してください。

6. **PICKUP(チョイ止・巻)**スイッチ
を1回押して糸長入力画面にします。

(**P1**が点滅します)



7.テンションを調整して、ジョグパワーレバーをMAXの位置まで倒し道糸を巻きます。

※パネル左下の数字が5～6になるようにテンションを調整してください。

!
注意

- ・フィンガーガードやフレームに糸があたると、リールが傷つくことがあります。
糸があたらないようにご注意ください。
- ・屋内で低速・高テンションで長時間（※1）かけて糸を巻くと、モーターが異常に過熱し故障の原因になります。ジョグパワーレバーをMAXにして入力を行ってください。また、実釣時には海水等で冷却されますのでご心配ございません。
- （※1）10分間連続で糸を巻くと、モーター過熱防止機能が働き、モーターが停止し、画面表示が点滅、5分間全ての操作ができなくなります。コマセタイマー部に4→3→2→1→0(分)とカウントダウンし、「ピー」と鳴ったら停止前の状態から入力可能です。

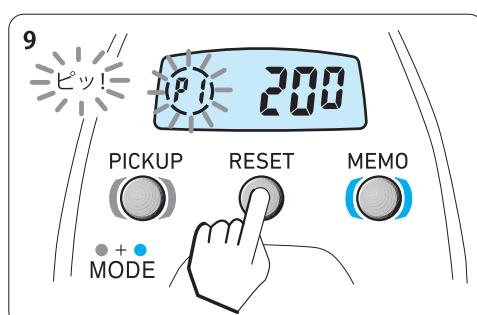
8.巻き終えたらジョグパワーレバーをOFF位置まで戻します。(アラーム音)



!
注意

- ・糸を全部巻き込まないようにしてください。手前でジョグパワーレバーをOFFの位置にし、ハンドルで巻いてください。巻き込みますとカウンター誤差の原因になります。
- ・この入力方法はPE0.8号未満の細糸は入力することができません。
- ・PE0.8号を巻く場合、スプール外径近くまで巻くと、スプールとフレームの間にPE糸が入り込む恐れがありますので、スプール外径から1mm程度少なめに巻く事をお勧めします。

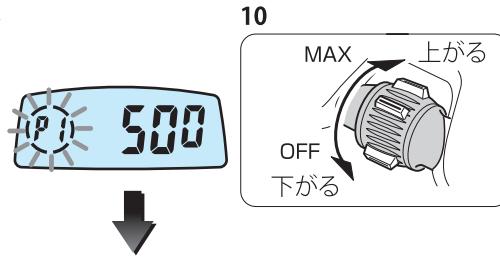
9. RESET(リセット)スイッチを2秒以上、表示が 200 mになるまで押してください。
(200は初期設定値です。)



道糸入力方法「リールに巻く糸の長さがわかる編」 P1 糸長入力

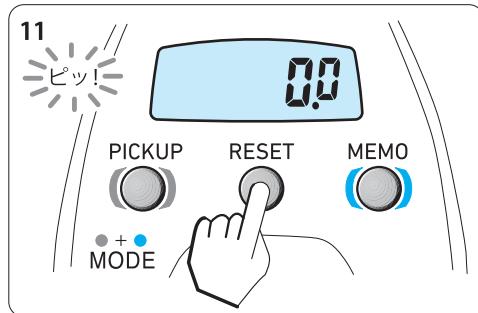
10. ジョグパワーレバーで、道糸の長さをセットします。

(図は、500mにセットした場合です。)
(セットする数値は、10m単位です。)



11. **RESET(リセット)**スイッチを2秒以上押してください。アラーム音が鳴り、表示 **0.0** の点滅が終われば完了です。

※ **Err** になった場合は、
PICK UP(チョイ止・巻)スイッチ
を押して始めから再度入力又は、引出し入力(P26,27)をしてください。



道糸入力方法「下巻き入力」

P2 下巻き入力

ただし、長さのわかる道糸が100m以上必要です。



道糸入力の際は、モーターが過熱しフレームが非常に熱くなりますので手で直接フレームを触らないでください。濡らしたタオル等をフレームに当てて入力をお願いします。

1. 下巻用の糸をレベルワインドに通してスプールに結び、通電させてください。

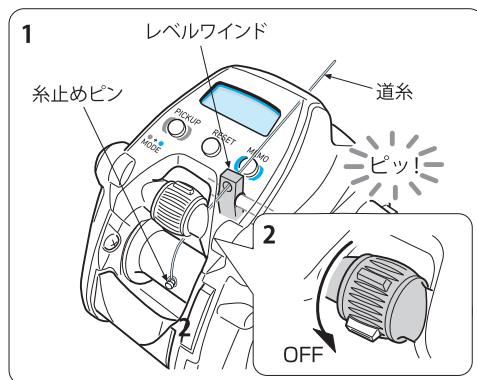
※付属の糸通しピン(P.14参照)を使うと簡単に通せます。

※スプール面での糸滑り防止のため、必ず糸止めピンに糸を結んでください。

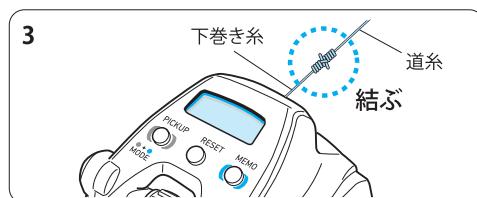
※ドラグを締め付けてください。

2. 下巻用の糸を巻きます。

※ジョグパワーレバーがOFFの位置にない場合は、一度OFF位置(手前)に戻してから出力してください。



3. 上糸をしっかりと結びます。



4. 表示が [0.0] のときに

MEMO(船止)スイッチと

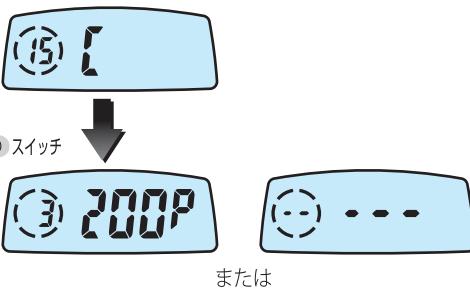
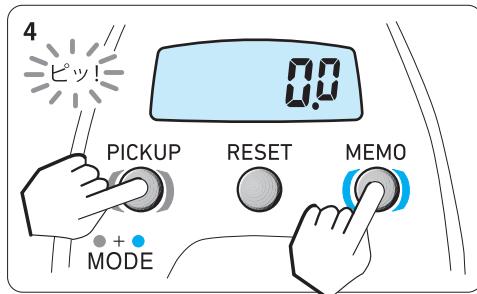
PICKUP(チョイ止・巻)スイッチ

を同時に6秒間押し続けてください。

※およそ2秒後にチョイ巻き画面になりますが、そのまま押し続けると道糸設定画面になります。

※ここで一旦スイッチを離してください。

次にもう一度PICKUP(チョイ止・巻)スイッチを押すと[P1]が点滅します。

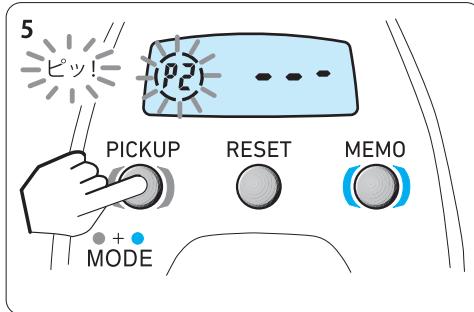


道糸入力方法「下巻き入力」

P2 下巻き入力

5. 糸長入力画面になつたらもう一度
PICKUP(チョイ止・巻)スイッチを
押して下巻き入力画面にしてください。

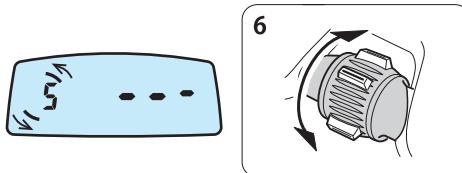
P2 が点滅します。



6. テンションをかけて糸色に注意しながら残り100mになるまで道糸を巻いてください。

糸を巻き取り始めると P2 のまわりの枠が回転します。

ジョグパワーレバーを倒すと P2 がテンション表示に変わりますので5~6になるようにテンションを調整してください。

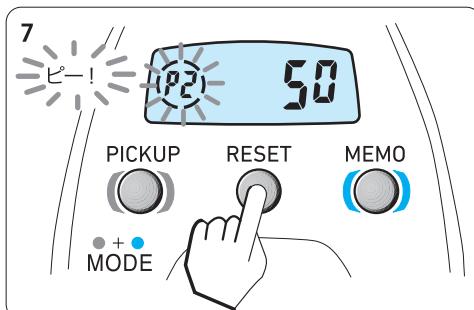


注意

- ・フィンガーガードやフレームに糸があたると、リールが傷つくことがあります。糸があたらないようにご注意ください。
 - ・屋内で低速・高テンションで長時間(※1)かけて糸を巻くと、モーターが異常に過熱し故障の原因になります。ジョグパワーレバーをMAXにして入力を行ってください。また、実釣時には海水等で冷却されますのでご心配ございません。
- (※1) 10分間連続で糸を巻くと、モーター過熱防止機能が働き、モーターが停止し、画面表示が点滅、5分間全ての操作ができなくなります。コマセタイマー部に4→3→2→1→0(分)とカウントダウンし、「ピー」と鳴ったら停止前の状態から入力可能です。

7. RESET(リセット)スイッチを2秒以上押してください。

P2 が点滅し、カウンターが 50 になります。

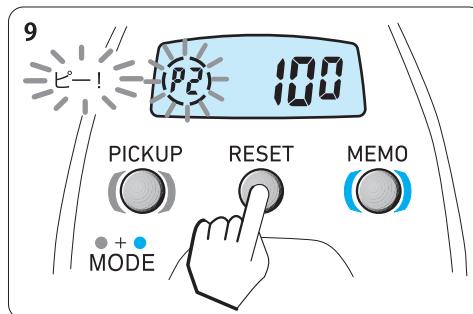


8. テンションをかけて糸色に注意しながら50m道糸を巻いてください。

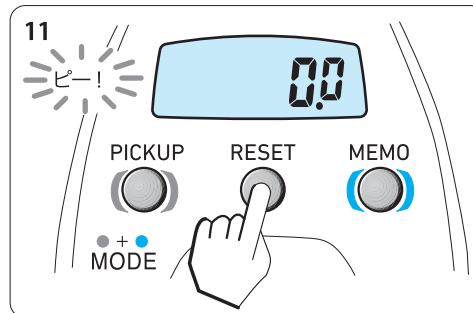
9. **RESET(リセット)スイッチ**
を2秒以上押してください。

P2 が点滅し、カウンターが 100 になります。

10. テンションをかけて糸色に注意しながら残りの50mを巻いてください。



11. **RESET(リセット)スイッチ**
を2秒以上押して表示 0.0 の点滅が
終われば完了です。



注意

- 糸を全部巻き込まないようにしてください。手前でジョグパワーレバーをOFFの位置にし、ハンドルで巻いてください。巻き込みますとカウンター誤差の原因になります。
- PE0.8号未満の細糸は入力することができません。
- PE0.8号を巻く場合、スプール外径近くまで巻くと、スプールとフレームの間にPE糸が入り込む恐れがありますので、スプール外径から1mm程度少なめに巻く事をお勧めします。

※ Err になった場合は、
PICKUP(チョイ止巻)スイッチ
を押して始めから再度入力又は、引出し入
力(P26,27)をしてください。

道糸入力方法「引出し入力」

P3 引出し入力

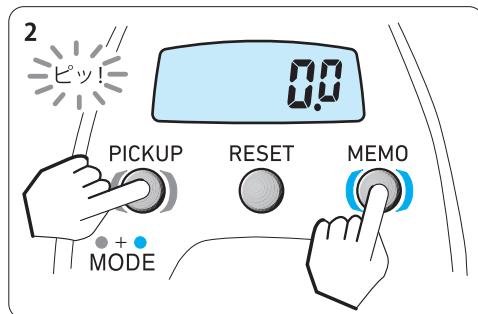
道糸を巻き終わった状態から引き出して再入力するための方法です。ただし長さのわかる道糸が100m以上必要です。

1.通電させてください。

2. MEMO(船止)スイッチと
PICK UP(チョイ止・巻)スイッチ
を同時に6秒間押し続けてください。

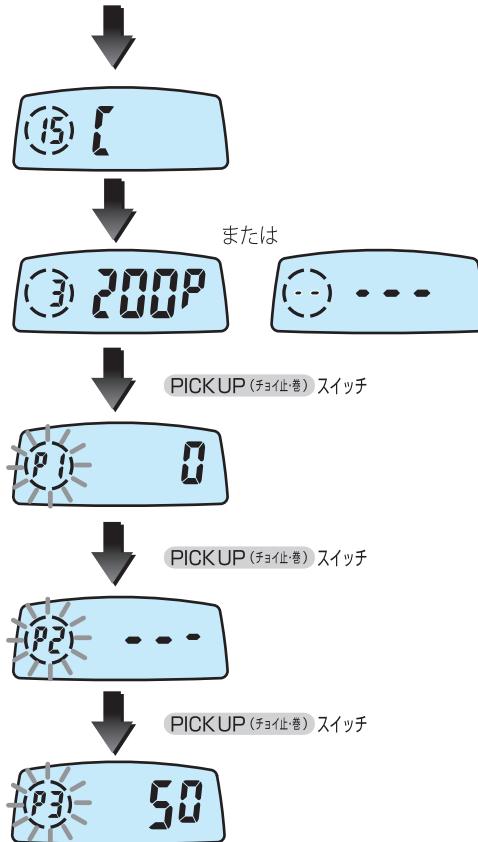
※チョイ巻き画面になりますが、そのまま押し
続けると道糸設定画面になります。

※ここで一旦スイッチを離してください。



3.さらにPICK UP(チョイ止・巻)スイッチ
を3回押して、引出し入力画面にしてく
ださい。

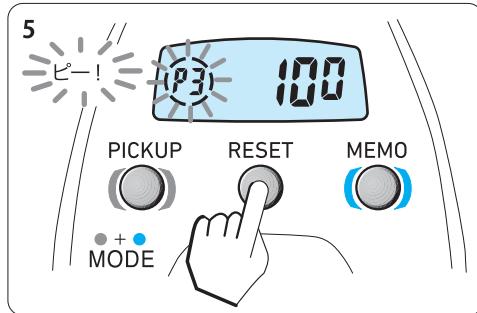
※ P3 が点滅し、下のカウンターに 50
と表示されます。



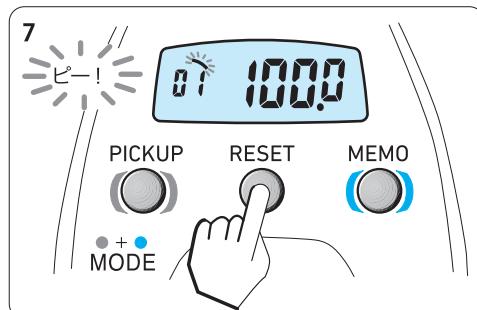
4.糸のマークに注意しながら、50m引き出します。

5. **RESET(リセット)**スイッチを2秒以上押してください。
数字が **100** になります。

6.糸のマークに注意しながらさらに50m引き出してください。



7. **RESET(リセット)**スイッチを2秒以上押してください。
数字が **100.0** になります。



8.引き出した糸を100m巻き取り完了です。



- 注意
- 糸を全部巻き込まないようにしてください。手前でジョグパワーレバーをOFFの位置にし、ハンドルで巻いてください。巻き込みますとカウンター誤差の原因になります。
 - PE0.8号未満の細糸は入力することができません。
 - PE0.8号を巻く場合、スプール外径近くまで巻くと、スプールとフレームの間にPE糸が入り込む恐れがありますので、スプール外径から1mm程度少なめに巻く事をお勧めします。

※ **Err** になった場合は、
PICKUP(チョイ吐巻)スイッチ
を押して始めから再度入力をしてください。

機能設定の基本操作「1.モード画面の使い方」

●便利機能の設定のしかた

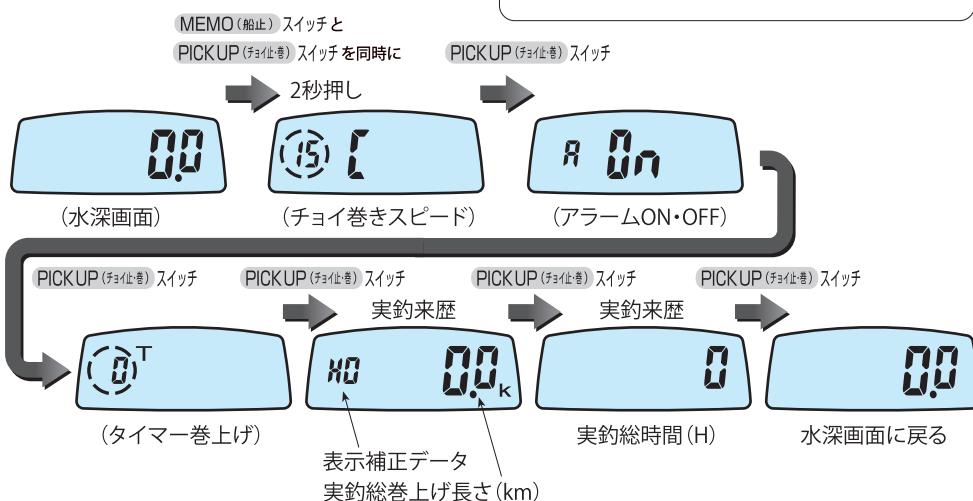
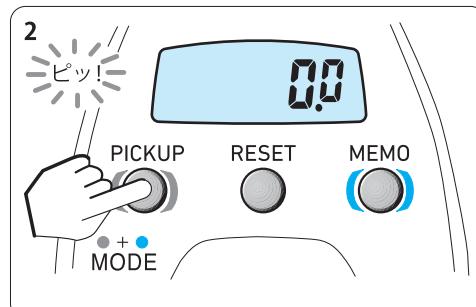
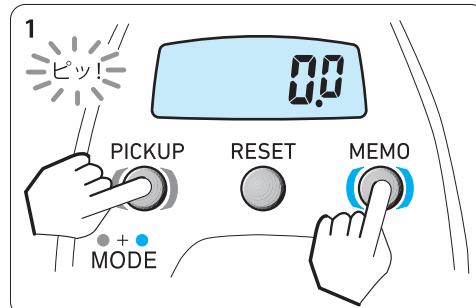
- ・モードの中には便利な機能が満載されています。
- ・設定画面でジョグパワーレバーを操作して数値および機能のON/OFFを選択し、
PICKUP(チョイ止・巻)スイッチを押して次の画面にすればセット完了です。
※セットした機能は、次の釣行もメモリーされています。
(モード設定直後に電源を切った場合、メモリーされない場合があります。)

1. MEMO(船止)スイッチと
PICKUP(チョイ止・巻)スイッチ
を同時に2秒間押し続けてください。

※誤操作防止のため、2秒押しとなっています。
(チョイ巻き画面になります。)

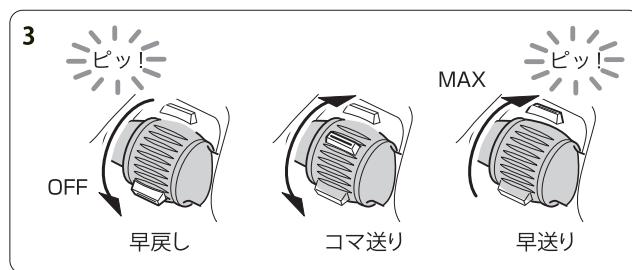
2. PICKUP(チョイ止・巻)スイッチ
を押し、セットする画面を選びます。

PICKUP(チョイ止・巻)スイッチを押すたびに、設定できる機能の表示が変わります。
※ PICKUP(チョイ止・巻)スイッチを押し続けると、
画面が早送りされ水深画面に戻ります。
※モード画面で、設定値を変更しても、各画面
で RESET(リセット)スイッチを押せば、初期
設定に戻ります。



3. ジョグパワーレバーで各機能のON/OFFや数値を選択します。

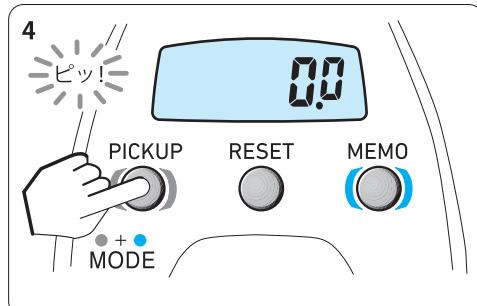
- ・ジョグパワーレバー「MAX」は数値の早送り、「OFF」は数値の早戻しになります。
- ・ジョグパワーレバーの「MAX」と「OFF」の間は数値のコマ送りになります。
- ・ジョグパワーレバー操作で「ON」と「OFF」が交互に現われます。



4. PICK UP (チョイ止・巻) スイッチ

を押し、次の画面に移つたらセット完了です。

- PICK UP (チョイ止・巻/シャクリ) スイッチ
- を押し続けると、画面が 早送りされ水深画面に戻ります。
- ・水深画面に戻して、釣りを始めてください。
 - ・設定画面のときに RESET(リセット) スイッチを押すと、初期設定値に戻ります。
(実釣来歴は除きます。)



注意

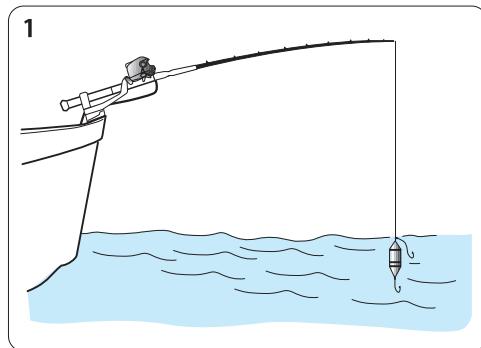
- ・このリールは構造上、従来の電動糸送りは効きません。
仕掛け落下時、ジョグパワーレバーを操作しても、糸を出す補助にはなりませんし、モーター過熱によるトラブルを招く恐れがありますのでおやめください。
- ・仕掛け落下中に、ジョグパワーレバーを操作してモーター回転をONの状態でクラッチをONしようとすると、クラッチ故障の原因になります。必ずモーター回転をOFFにした状態でクラッチをONしてください。

機能設定の基本操作「2.釣りを始める前に」

●水面ゼロ設定

釣りを始める前に必ず行ってください。

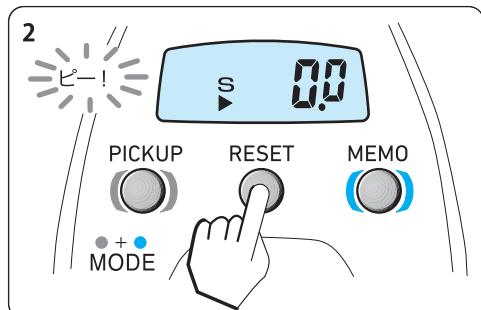
- 1.コードをつなぎ、糸を出し、仕掛けをセットします。



- 2.竿を出し、仕掛けが水面にある時に

RESET(リセット)スイッチ
を押します。

表示が **0.0** mになり **S** (船止) が点灯し
セット完了です。



・新しい糸を巻いたときや、大物を掛けたときは糸の伸びにより船べり停止位置がずれことがあります。そのときは再度水面ゼロ設定を行なってください。

●道糸が切れてしまったら

- ・道糸が切れてしまった場合、糸切れ修正を行なってください。
- ・切れたライン分のラインデータを修正します。通電状態のまま竿先まで巻き上げ、
RESET(リセット)スイッチを2秒以上押してください。表示が **0.0** になれば完了です。
※上記の作業によってラインデータが上書き(修正)されます。
- ※糸切れした場合のデータ修正以外は、カウンター誤差の原因になりますので、
RESET(リセット)スイッチの長押しはしないでください。

機能設定の基本操作「3.えらべる船べり自動停止」

●えらべる船べり自動停止

船べり停止位置が思いのまま、さらに手返しラクラク。

- ・えらべる船べり自動停止は、RESET(リセット)スイッチを押した位置より1m～5mの範囲内で船べり停止位置を任意に選んでセットすることができます。(10cm単位)
船べり停止し、ロッドを立てれば仕掛けが手元にくるよう、えらべる船べり自動停止位置をセットすれば手返しに大変便利です。
- ・糸ののびにより船べり自動停止位置が下にズレてくるように感じることがあります。そのときは、再度、水面ゼロ設定をやり直してください。
- ・船べり停止位置付近では、安全のためジョグパワーレバーでの操作がきかない場合があります。

1.リールを通電し、水面に仕掛けがある

時に RESET(リセット)スイッチ
を押します。(水面ゼロ設定)

表示が **0.0** mになります。

2.ロッドを立てて、仕掛けの取りやすい位 置や、取り込みのしやすい位置まで糸 を出します。

図の場合は1.5m

便利

・竿を立てたとき仕掛けがちょうど手元
にくるように設定すれば、手返しに大
変便利です。

3.その位置で MEMO(船止)スイッチ を約2秒間押し続けます。

S (船止)が点滅すれば、セット完了です。

※船べり自動停止の初期設定は2.0mです。

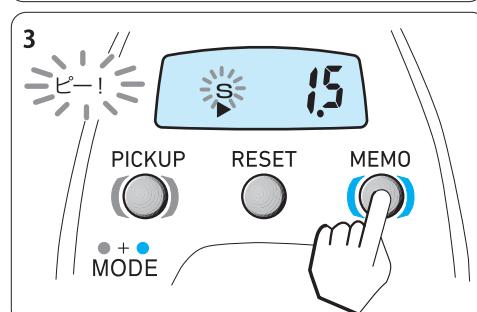
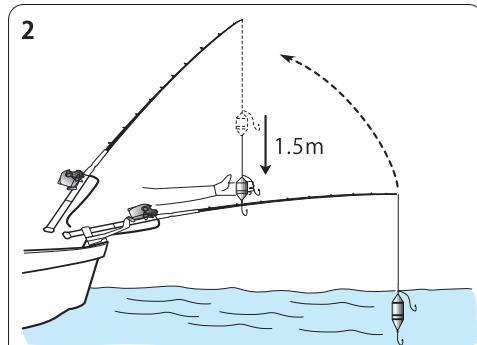
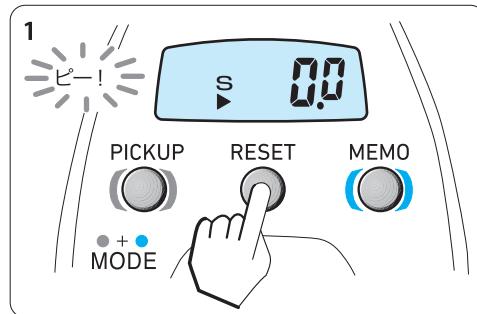
(RESET(リセット)スイッチを押さない場
合は、5.0mで止まります。)

※設定が完了すると、**S** (船止)ランプが点
滅します。

4.仕掛けを回収する時は、設定値で自動 で電動巻上げを停止しますので、ロッド を立てれば仕掛けが手元に来ます。

注意

・テンションの変動により、船べり自動停止
位置がズレ、仕掛けをロッドに巻き込む
恐れがあります。安全のため船べり停止
位置は余裕を持って設定してください。



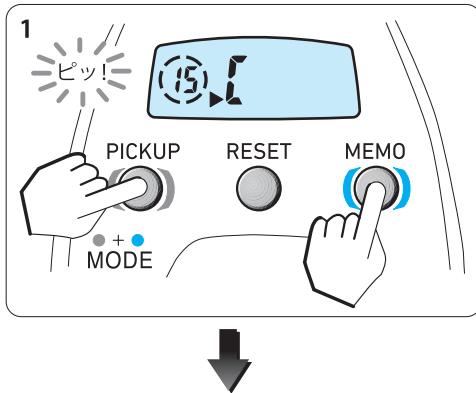
機能設定の基本操作「4.チョイ巻きスピード設定方法」

●チョイ巻き

PICK UP (チョイ止・巻) スイッチを押している間だけ電動リールに巻取りをさせることができる便利な機能です。チョイ巻きの速さは初期設定では15ですが、モード画面で変更することができます。(1~Hiまで設定可能です。)

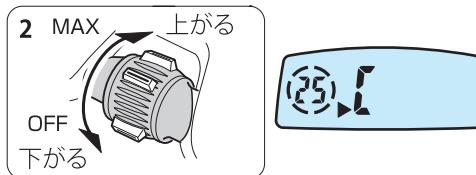
●チョイ巻スピード設定方法

1. MEMO(船止)スイッチと
PICK UP(チョイ止・巻)スイッチ
を同時に2秒間押してモード画面にし
て「チョイ巻」画面にしてください。



2. ジョグパワーレバーでスピードを設定
します。

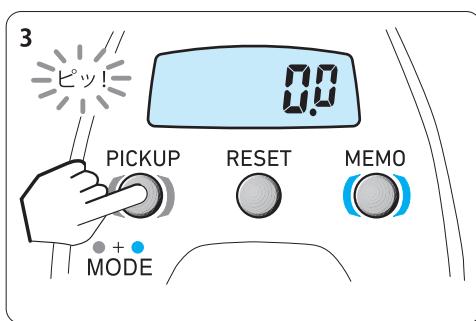
設定値は1~Hiまでです。



(25に設定した場合)

3. PICK UP(チョイ止・巻)スイッチ
を5回押し、「水深」画面に戻せばセット
完了です。

画面に ▶ (チョイ巻) が表示されます。



•船べり停止位置+3mからは、安全のためスイッチを押しても作動しません。

機能設定の基本操作「5. チョイ止め設定方法」

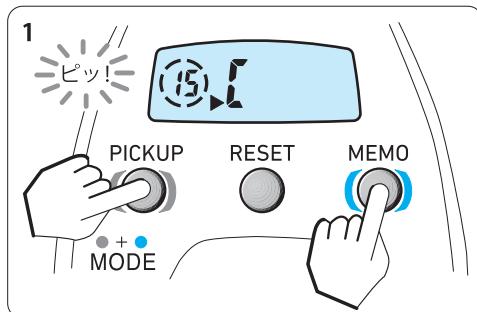
●チョイ止め

電動巻上げをしている時、PICKUP(チョイ止・巻)スイッチを押している間だけ電動巻上げを止めるができる便利な機能です。スイッチを放せばジョグパワーレバーの位置の速度で巻上げを始めます。

●チョイ止め設定方法

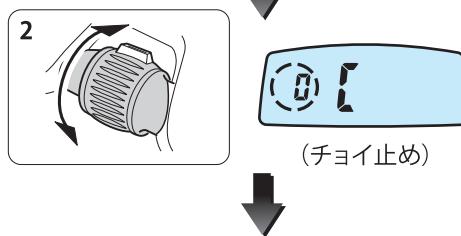
1. MEMO(船止)スイッチと
PICKUP(チョイ止・巻)スイッチ
を同時に2秒間押してください。

チョイ巻き画面になります。



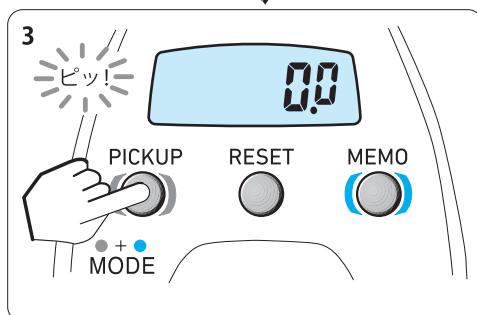
2. ジョグパワーレバーを操作して、ゼロにしてください。

ジョグパワー
レバーで



3. PICKUP(チョイ止・巻)スイッチ
を押して水深画面に戻せばセット完了
です。

画面の ▶ (チョイ巻)が消灯します。



注意

- PICKUP(チョイ止・巻)スイッチを押して停止している時に、もとの位置から±3以上ジョグパワーレバーを操作した場合、安全のため巻上げを停止します。

機能設定の基本操作「6.タイマー」

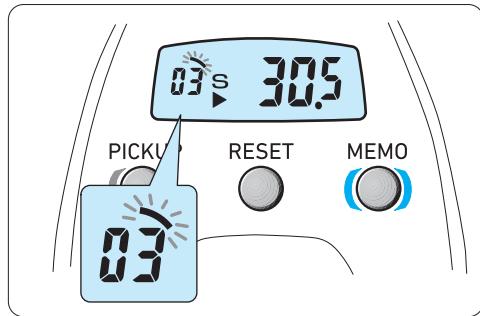
●タイマー

タイマー表示付きだから、仕掛け投入経過時間をズバリ表示。手返しペースを作るのにとっても便利。

- ・仕掛け投入開始からの経過時間を表示します。仕掛け回収のタイミングを測る目安になります。
- ・タイマーは MEMO(船止)スイッチが押されていないときは、水面カウンター7.0mよりオートスタートします。

※1分以内は秒単位、1分以上は分単位で表示されます。

※タイマー機能は解除できません。



・途中で MEMO(船止)スイッチを押した場合は、タイマー表示が 0.0 から表示がスタートします。

- ・タイマー表示は、船べり停止位置まで巻き上げると消灯します。



※外枠の1つが10秒を表し、順番に点滅していくます。

機能設定の基本操作「7.タイマー巻上げ」

●タイマー巻上げ

タイマーをセットすればリールが自動で巻上げてくれるから、より効率の良い釣りが簡単にできます。

- ・1回の投入の時間を5分とリールに設定すれば、タイマーがスタートした時点より5分たてば、自動的にリールが手返しのため高速で仕掛けを巻き上げます。
- ・タイマー巻上げがセットされると、液晶内に **T** (タイマー) が点灯します。解除するときは設定を **0** (OFF)にしてください。**T** (タイマー) が消灯します。
- ・セットした時間は **MEMO(船止)** スイッチ を押すことにより、確認することができます。
- ・タイマーの巻上げの設定は、電動巻き上げ中以外はいつでもできます。

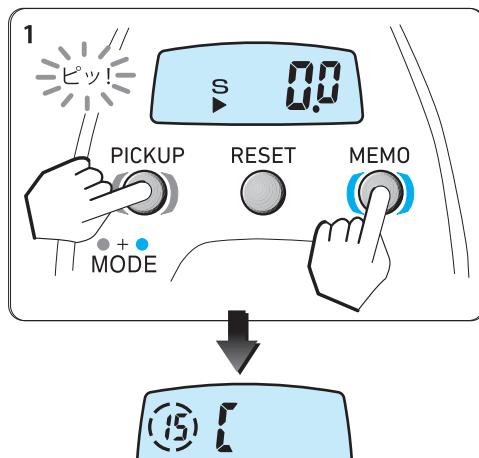
※タイマーの巻上げのスタートは、**MEMO(船止)** スイッチを押してください。

1. **MEMO(船止)** スイッチと

PICKUP(チョイ止・巻) スイッチ

を同時に2秒間押してモード画面に入
り、チョイ巻き設定画面にします。

※P.28,29 「モード画面の使い方」参照。

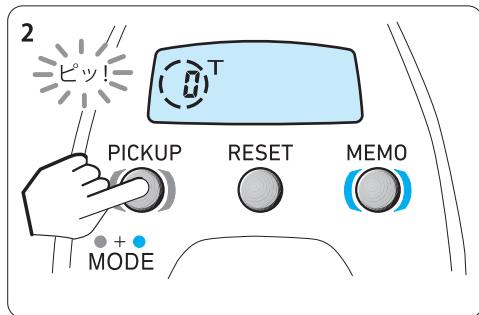


2. **PICKUP(チョイ止・巻)** スイッチを2回押し、 タイマー設定画面にします。

T が表示されます。

・タイマー巻上げ前に、アラームにてお知らせし
ます。

・初期設定はOFFになっています。

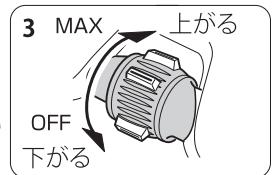


機能設定の基本操作「7.タイマー巻上げ」

3. ジョグパワーレバー操作で手返しの待ち時間(分)を入力します。

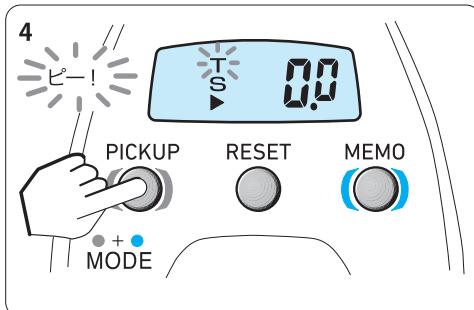
レバーを上げると数値が上がり、手前に引くと数値が下がります。

(図は待ち時間を5分にセットした場合です。)



4. **PICKUP** (Choi止・巻) スイッチを押して、水深画面に戻ったらセット完了です。

画面に **T** (タイマー) が点灯します。



5. セットした時間がくると、自動的にMAXスピードで仕掛けを巻き上げます。

・巻き上げ前にアラームが鳴ってお知らせします。

ヒント！

- ・仕掛け投入開始からの経過時間を表示します。仕掛け回収のタイミングを測る目安になります。
- ・タイマーは、水深カウンター7.0mよりオートスタートします。

機能設定の基本操作「8.表示補正」

●表示補正

カウンターの表示が糸色に対してズレてきた時、糸色に合わせてカウンター表示を補正することができます。

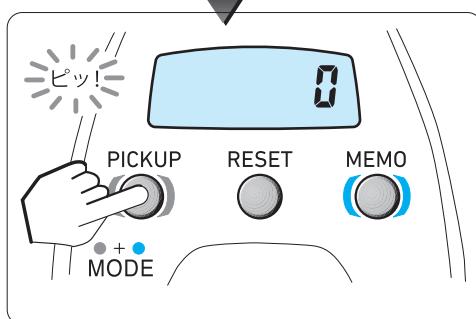
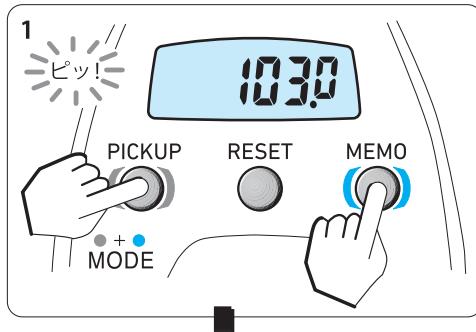
便利

実釣中にカウンターを補正することができます!

(例)糸色ではちょうど100mに対しカウンターの表示を103mから糸色100mに合わせ補正する場合。

1. MEMO(船止)スイッチと
PICK UP(チョイ止・巻)スイッチ
を同時に2秒間押し続けてモード画面
にしてから、さらに
PICK UP(チョイ止・巻)スイッチ
を押して実釣来歴(実釣時間)の画面
にしてください。

※P.28,29「モード画面の使い方」参照。

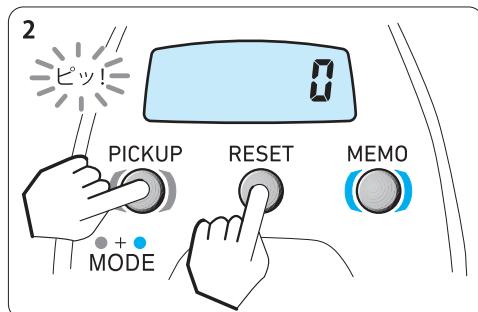


(図は0時間未使用状態を示しています。)

機能設定の基本操作「8.表示補正」

2. **RESET(リセット)スイッチとPICK UP(チョイ止・巻)スイッチを同時に2秒以上押してください。**

表示補正画面になります。



(表示補正)

3. ジョグパワーレバーを、カウンターが100になるまで手前(OFF)に戻してください。

※下がりすぎてしまった場合は、MAXにすれば数値は上がります。

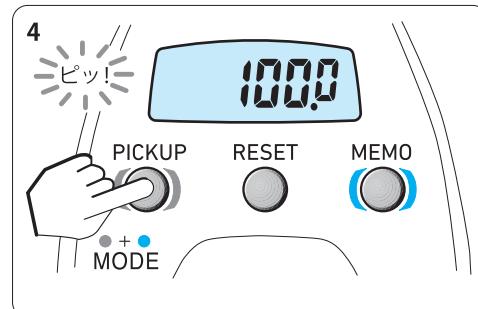
※100.0ちょうどにならない場合は、一番近い数字に合わせてください。



4. 100にセットできたら

PICK UP(チョイ止・巻)スイッチを押し、水深画面に戻れば完了です。

※補正画面の時、RESET(リセット)スイッチを押せば、補正前(初期設定値)の表示に戻ります。



機能設定の基本操作「9.その他の便利機能」

●いろいろアラーム



船べり、…さまざまな情報を音でお知らせ、いろいろなアラーム。

・ジョグパワーレバーアラーム

・ジョグパワーレバーのMAXの位置と、OFFの位置をアラーム音でお知らせします。

・船べりお知らせアラーム

・巻上げ中、船べり停止6m手前より2m間隔でピッ、船べり停止位置でピーッと鳴り仕掛けが船べりにだんだん近付いて来るをお知らせします。

・スイッチアラーム

・各スイッチを押すと、アラーム(ピッ)が鳴り、スイッチが確実に押されたことを音で確かめられます。(モード設定によりOFFすることもできます。)

・過電圧警告アラーム

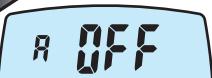
・電源電圧がリールの使用可能範囲より高いとき、連続アラーム音を発し、警告します。ただちにその電源の使用をおやめください。

・タイマー巻上げお知らせアラーム

・タイマー巻上げ前にアラームにてお知らせします。

●アラームON・OFF選択

アラーム音を設定により消すことができます。



・初期設定はONになっています。

・アラームをOFFになると、スイッチ操作やジョグパワーレバーを操作してもアラーム音は出ません。

1.モード画面でアラームON・OFF画面にしてください。

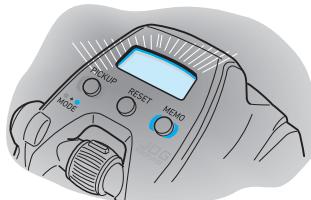
(P.28,29 「モード画面の使い方」参照。)

2.ジョグパワーレバーを操作してOFFにしてください。

3. **PICK UP (チョイ止巻)** スイッチを押して水深画面に戻ったらセット完了です。

●カウンターランプ

カウンター内のランプが常に点灯。



・薄暗いところでもカウンターが見えるよう、通電中はいつもカウンター内のランプがついています。

●ブレーカー作動表示

・安全に釣りをするため、リールに大きな負荷が加わるとブレーカーが作動し、15秒間電動巻上げを停止します。作動時はコマセタイマー/ジョグパワーレバー位置表示部に図のような表示が出ます。



点滅表示



機能設定の基本操作 「10.ハンドルノブの取り外し方&ハンドルアーム長交換方法」

■ハンドルノブの取り外し方

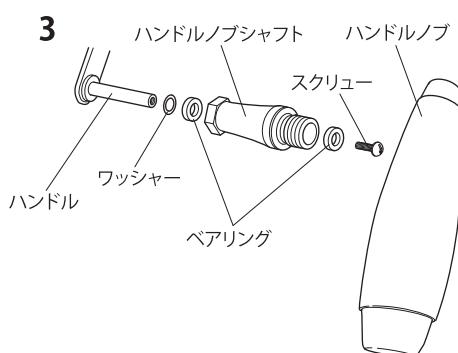
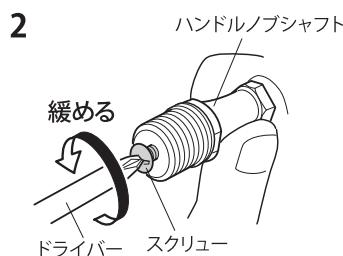
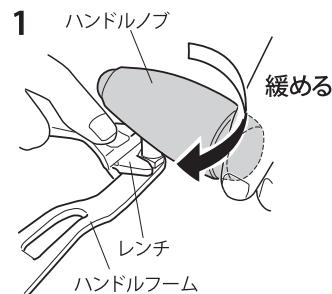
1.12mmのレンチでハンドルアームの根元を固定しながら、ハンドルノブを反時計回りに緩め、外します。

※逆ネジになっていますのでご注意ください。

2.ドライバーでノブ内部のスクリューを反時計回りに緩めて外します。

※スクリューには、緩み止め防止剤が付いていて、緩みにくくなっています。ネジ山を傷めないようにご注意ください。

3.部品構成は図のようになります。



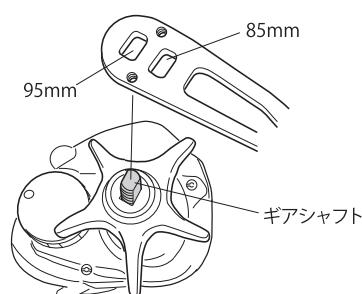
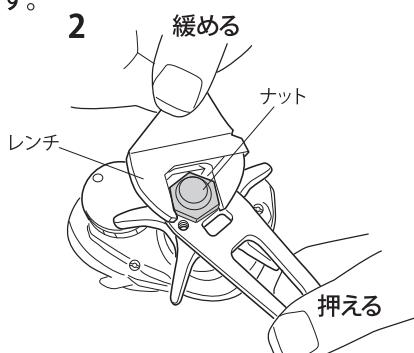
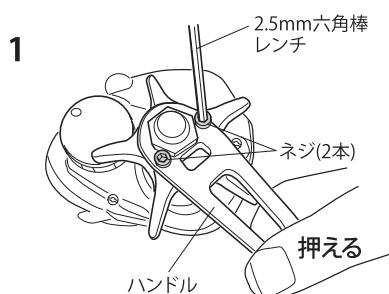
■ハンドルアーム長交換方法

1.ハンドルを押さえ、2.5mmの六角棒レンチでネジ2本を反時計回りに回し、外します。

2.14mmのレンチでナットを外します。

※右ハンドルモデルは左回し、左ハンドルは右回しに回すとナットが外れます。

3.ギアシャフトに85mmの穴に移動し、取り付けます。



仕様一覧

●リール仕様一覧

SEABORG 200J-SJ

製品コード		00810007
ギヤー比(手動時)		5.6 : 1
巻取り長さ(ハンドル1回転)		60 cm
標準自重		570 g
最大ドラグ力		6 kg
MAXジグウェイト		400 g
標準巻糸量 ※PEとは、当社棚センサー ライトのことです。	PE	0.8号-700m 1号-600m 1.2号-500m 1.5号-450m
ベアリング入数(ボール/ローラー)		14/1
電源電圧		DC12 V~16.8 V
最大巻上力 ※1		38 kg
常用巻上速度(1kg負荷時) ※2		152 m/分
JAFS基準巻上力 ※3		9 kg
JAFS基準巻上速度 ※3		190 m/分
電流(A)	無負荷時	3
	定格	6
	最大	15
変速機能	無負荷時	0~190 m/分(無段階变速)
最適バッテリー		ダイワスーパークリウムシリーズ ダイワBM/バッテリーシリーズ

※1:最大巻上力=電源電圧13V、軸トルクによる参考値。

※2:常用巻上速度=電源電圧13V、1kg負荷時の100m巻上げ速度の平均。

※3:JAFS基準巻上力/巻上速度=日本釣用品工業会規程、電源電圧13Vにおける測定値。

・巻糸量は目安でありメーカー・アイテム・テンションにより異なります。

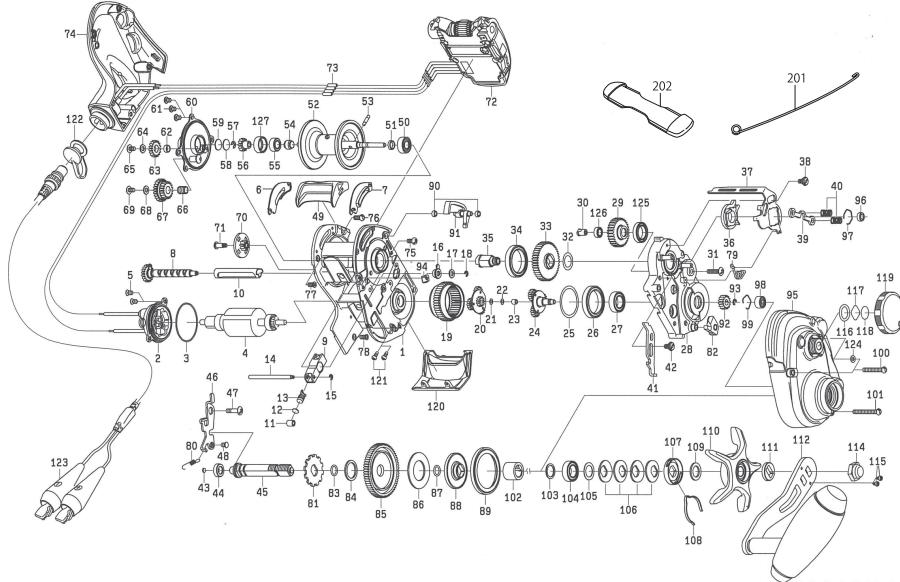
●カウンター部仕様

水深表示範囲	カウンター:0.0~999.9m
使用可能温度	-10°C~60°C

※改良のため、仕様を予告なく変更することがあります。

展開図

シーボーグ 200J-SJ



No.	部品名	No.	部品名	No.	部品名	No.	部品名
1	フレームASショウ	34	ホーラルヘーリング	67	ギア	100	ナベコネク
2	モーターホルダ-UN	35	シャフト	68	ワッシャー	101	ナベコネク
3	Oリング	36	クラッチカム	69	コネク	102	カラ-
4	ローターUN	37	クラッチカムブレード	70	ギアAS	103	ワッシャー
5	サラコネク	38	スクリュー	71	スクリュー	104	ホーラルヘーリング
6	ブレード(L)	39	クラッチブレード	72	カウントAS	105	ワッシャー
7	ブレード(R)	40	スプリング	73	チューブ	106	スプリングワッシャー
8	ウォームシャフトAS	41	キックレバー	74	サイドブレード(L)AS	107	キャップAS
9	ハーフワインド AS	42	スクリュー	75	ナベコネク	108	リーススプリング
10	ハイド	43	ワッシャー	76	スクリュー	109	ワッシャー
11	カラ-	44	ヘアリング	77	サラコネク	110	スタードラグAS
12	ワッシャー	45	ギアシャフト	78	サラコネク	111	カラ-
13	ハーフワインドビン	46	ブレード	79	スプリング	112	ハンドルAS
14	ヒューラー	47	トロスコネク	80	スプリング	114	ナット
15	リライナー	48	サラコネク	81	ラチエット	115	スクリュー
16	カラ-	49	クラッチバー	82	ストリッピングAS	116	Oリング
17	ワッシャー	50	ホーラルヘーリング	83	Oリング	117	ワッシャー
18	リライナー	51	カラ-	84	ワッシャー	118	ワッシャー
19	ギアAS	52	スプリールAS	85	ドライバギア	119	スクリューAS
20	ブレードAS	53	ビン	86	ワッシャー	120	スイガーカバー
21	ワッシャー	54	カラ-	87	Oリング	121	ナベアタマタッピングネジ
22	ワッシャー	55	ホーラルヘーリング	88	カラ-	122	キャップ
23	ヘアリング	56	ギア	89	バッキン	123	コート
24	メタルAS	57	リティナー	90	カラ-	124	ワッシャー
25	ワッシャー	58	ワッシャー	91	ハーフAS	125	フカミゾタマジックウケ
26	ホーラルヘーリング	59	ワッシャー	92	ビン	126	ホーラルヘーリング
27	ホーラルヘーリング	60	セットブレード(L)	93	リティナー	127	カラ-
28	セットブレード(R)AS	61	ナベコネク	94	ライリストッパー	200	リールバッゲダイ
29	ギア	62	カラ-	95	サイドブレード(R)AS	201	イトオシ
30	カラ-	63	ギア	96	カラ-	202	フレームカバー
31	トラコネク	64	ワッシャー	97	リング	203	ジール
32	ワッシャー	65	コネク	98	ホーラルヘーリング	204	マニュアル
33	ギア	66	カラ-	99	リング		

※調整、その他により、展開図、部品表内容が製品と一致しない場合がありますので、あらかじめご了承ください。

故障かな?と考える前に

症 状	考えられる原因	処 置	参 照 ページ
ジョグパワーレバーを操作しても、モーターが回転しない。	・船べり停止後、そのまま巻き続けカウンター表示が 0.0 mになっています。	・正常です。(巻込み防止のため手動以外作動しないようにしてあります) RESET(リセット) ボタンを押せば巻き上げ可能になります。	31
	・レバーを1度OFFの位置に戻していません。	・1度レバーをOFFの位置に戻して巻上げを開始してください。	15
	・安定しない船の電源を使用しています。	・船電源は不安定で、正常に作動しないことがあります。電動リール専用バッテリーをご使用ください。	9
カウンターがつかない。	・バッテリーの残量切れです。	・バッテリーを再充電してご使用ください。	10
	・コードの断線です。	・コードを新品と交換してください。	13
	・バッテリーと ⊕ 、 ⊖ が正しく接続されていません。	・正しく接続し直してください。	8
船べり停止位置がおかしい。	・仕掛けセットしたとき、 RESET(リセット) ボタンを押していません。	・仕掛けをセットした後は必ず水面ゼロ設定をしてください。	30
	・ジグのウェイトや船のゆれによって多少ズレることがあります。	・えらべる船べり停止の設定値を調整してください。	30,31
	・糸がのびて水面ゼロ設定点が下にズれてしまっています。	・水面ゼロ設定を再度行ってください。	30,31
カウンター表示に誤差が多い。	・使用中に道糸がのびることがあり、カウンター表示と色糸との間に差が生じることがあります。	・再度、道糸データを入力してください。 ・表示補正をしてください。	18~27 37,38
	・実釣中、電源が消えた時に糸を巻いてしまった。	・再度、道糸データを入力してください。	18~27
	・糸を出している時に、 RESET(リセット) ボタンを長押ししてしまった。	・再度、道糸データを入力してください。	37,38
チョイ巻きスイッチを押しても巻けない。	・大幅な表示補正をしています。	・補正を解除してください。	37,38
	・速度設定が0になっています。	・モード画面で速度を設定してください。	32

※上記の点検が行なわってもなお、正常に戻らない場合、およびほかの故障が生じ修理が必要な場合、あるいは部品御注文の際は、お買い求めの販売店、または取説裏面に記載されたお客様センターにおたずねください。

アフターサービスについて

本製品は当社の厳重な検査を経て出荷されたのですが、万一、故障が生じ修理が必要な場合、あるいは部品御注文の際はお買い求めの販売店、または下記のお客様センターまでお問い合わせください。なお、修理品は部品代のほか手数料をいただきますのでご了承ください。

お客様センター（無料） 携帯電話からもご利用できます

TEL 0120-506-204

受付時間：9:00～17:00 （土・日・祝祭日は除く）

ホームページ上からもご確認、お問い合わせできます

daiwa.globeride.co.jp

グローブライド株式会社

〒203-8511 東京都東久留米市前沢3-14-16